

「歯科疾患・口腔機能と健康長寿」研究へのご協力のお願い

このたび、大阪大学歯学部附属病院咀嚼補綴科、口腔治療・歯周科では、下記のような研究を行うことになりました。

ついては、この研究では患者さまのカルテから情報収集を行う予定ですので、データの使用について、ご協力いただきますようお願いいたします。

1) 研究課題名

歯科疾患・口腔機能と健康長寿との関係

2) 研究組織、規模

主任研究者

・有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座教授 池邊一典

分担研究者

・有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座

准教授 権田知也

助教 室谷有紀、東孝太郎、辻岡義崇

大学院生 木村綾花、武内聡子、吉備皓太郎、西村尚弘、平松里彩、原口天志、
伊堂寺慧、村上大祐、湯本華帆、北脇綾乃、須崎茉美

・歯学部附属病院咀嚼補綴科

講師 高阪貴之、豆野智昭

医員 明間すすな

・口腔治療学講座

教授 竹立匡秀

特任教授 村上伸也

講師 岩山智明

助教 柏木陽一郎

助教 沢田啓吾

・歯学部附属病院口腔治療・歯周科

講師 山下元三、藤原千春

助教 三木康史

3) 研究の背景と概要

健康長寿は、遺伝的要因、生活環境、社会経済的要因、精神的・身体的健康習慣、慢性疾患とその治療歴などが複雑に絡み合って達成できると考えられます。本研究は、上記の要因を考慮に入れた上で、歯科疾患や口腔機能が、長寿や疾患、認知・運動機能、老化度にどのように影響するかについて明らかにします。

4) 研究の目的及び意義

本研究の目的は、歯科疾患や口腔機能と長寿や疾患、認知・運動機能、老化度との関連を、縦断研究によって明らかにすることです。本研究によって、歯科疾患や口腔機能と全身疾患、認知機能、心理的状态、ならびに健康長寿との関連が明らかとなり、健康長寿における口腔の健康と口腔機能維持の意義が明確となります。

5) 研究の方法及び期間

- (1) 口腔内検査
- (2) 口腔機能検査
- (3) 栄養摂取状態の調査

研究期間は2030年3月31日までとします。

6) 情報の開示とその方法

研究対象者を特定できないようにした上で、当該研究の成果が公表される可能性があります。研究結果を学会、学術誌に発表する際には、研究対象者個人が特定不可能な形式（集団の平均等）を用います。

研究対象者及び代諾者等の希望があれば当該研究計画及び当該研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。ただし、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内とします。

7) 個人情報等の取扱い

本研究から得られた個人情報は、連結可能匿名化して保管します。

個人情報は、ネットワークから切断されたコンピュータにて処理を行います。

8) 相談窓口

大阪大学大学院歯学研究科 教授 池邊一典

電話：06-6879-2954

総務課庶務係

電話：06-6879-2831

9) 研究への参加を拒否する方法

本研究は人を対象とした医学系研究であり、通常の診療とは直接関係ありません。この研究に協力するかどうかは個人の自由です。研究に協力しない場合や同意を撤回した場合でも、個人の不利益になることはありません。